

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	豊中市役所			代表者名	長内 繁樹
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル戦略課	連絡先電話番号	06-6858-2669
担当者役職	事務職	担当者氏名	小林	連絡先E-mail	
住所	561-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタル化施策の推進
概要	データ利活用の国の動向や事例、スマートシティの実現に向けたデータの利活用など、データ利活用を推進するための勉強会の実施		
支援を求める分野	EBPM		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	178	令和6年9月20日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月28日	事前打合せ(実地)	14時30分	17時00分	10
				活動時間（分）	140
2-2.	会場名	豊中市役所	最寄駅	岡町	
派遣場所	所在地	大阪府豊中市北桜塚1-4-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	木下 克己
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	知識量・経験が豊富で地方公共団体のデータ分析の現状を、実際の現場目線で教えていただけて良かったです。また失敗や頓挫した部分についても率直に説明・回答いただき、今後の豊中市がデータ利活用を推進するうえで非常に参考になりました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	10人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
人数	10	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	データを分析し活用するための知識やスキル、効果的なデータの活用方法などについて、国の動向や他市の事例などを含め理解し、実際の業務で活用・実践が課題と認識。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	当該支援により職員が、社会環境・市民ニーズの本質を捉えながら複雑化する市の行政課題を客観的根拠に基づきわかりやすい表現で分析可視化し、データに基づき必要とされている施策に根拠をもって取り組めるようになること。それにより、「市民のお一人おひとりが暮らしの中でデジタルの恩恵を享受し、利便性や暮らしやすさを実感・共感できる」ことを目標に、より効果的・効率的に地域・暮らしのなかに最適なデジタルサービスを浸透させる取組みを推進できるようになること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	EBPM、スマートシティ、スマート自治体等の言葉の定義や実際の動きなど基礎的な部分や、データ利活用についての国の動向や他市の事例など。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「データを利用すること」「政策の根拠に客観的データが必要であること」の意識はあるがデータ利活用について学ぶ機会がなかった市職員が、データを分析し活用するための知識やスキル、効果的なデータの活用方法などについて理解することができた。 また、国の動向や他市事例などを参考にしつつ、本市のデータ利活用の方向性が問題ないこと確認できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回学んだことを基に、データ分析・活用を行い今後実際の業務で活用・実践を行う予定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 データ利活用に関する課題を設定し、事務局と講師で研修内容を検討したためアンケートは実施せず	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する データ利活用のためのBIツールやデータ基盤のための予算は確保済みであり、今回の講演内容からも、現状の方向性で問題ないこと確認できた。とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0に基づき、推進を進めていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	社会環境・市民ニーズの本質を捉えながら複雑化する市の行政課題を客観的根拠に基づきわかりやすい表現で分析可視化し、データに基づき必要とされている施策に根拠をもって取り組むことで「市民の一人おひとりかが暮らしの中でデジタルの恩恵を享受し、利便性や暮らしやすさを実感・共感できる」ことを目標に、より効果的・効率的に地域・暮らしのなかに最適なデジタルサービスを浸透させる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



